



「The Mark」の気品あるメインエントランス。アッパーイーストの瀟洒(しょうしゃ)な館である



マジソン Ave と 77th St の角に「The Mark」は位置する。前方に可愛いゲスト専用「リキシャ」が見える



ジャン・ジョルジュ監修のメインダイニング「The Mark Restaurant by Jean-Georges」



筆者 小原 康裕

ホテルジャーナリスト
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。85年築地原健樹代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。

www.jhrca.com/worldhotel

現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。

ザ・マーク The Mark

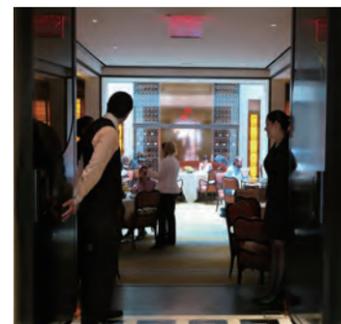
www.jhrca.com/worldhotel?cat42

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテリエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月2・4週号掲載



ニューヨーク、アッパーイーストのメトロポリタン美術館の近くの77th Stに建つThe Markの正面ファサード。創業88年の名門ホテルで、全館完全リノベーションの後2009年に優雅な姿で戻って来た



「The Mark Restaurant by Jean-Georges」のエントランス



ここはアッパーイーストのセレブ御用達のレストラン



スタイリッシュなレセプションデスク



「The Mark Bar」の前に立つ陽気なウェイター



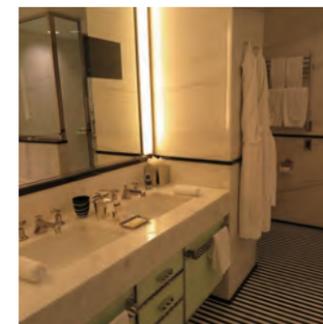
ヘア・サロン「Frédéric Fekkai's Salon Mark Hotel」。モデルや地元のマダムたちににぎわう



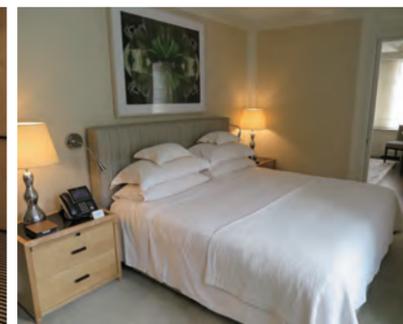
革靴の最高峰、ジョンロブの手による靴磨きコーナー「John Lobb Shoeshine」



「Mark Premier One Bedroom Suite」の気品あるリビングルーム。約95㎡の広さを持つ落ち着いたコーナースイートだ



アーバン・コンテンポラリーのデザインで、使い勝手の良いバスルーム



淡い色調でクラシカルな雰囲気のベッドルーム。ベッドリネン類も最上級のものを使用している

ニューヨーク、アッパーイーストのメトロポリタン美術館の近く、マジソン Ave と 77th St の角にリクスなホテルが佇んでいる。その名は「The Mark」、創業88年の名門ホテルだ。3年間の全館完全リノベーションを施し、2009年に優雅な姿で戻って来た。エッジの効いたスタイリッシュなインテリアはロウワー・マンハッタンにヒップなブティックホテルを気品よく磨き上げた雰囲気である。ロビーは、白と黒のアルデコ調のデザインで、モダンとクラシックの豪華さに目が眩むくらいだが、客室は実に繊細な印象を持つ。ザ・マークの伝統と時間を超越した優美なスタイルはアッパーイーストでも特異な存在と言える。

ザ・マークは1927年に開業したが、1989年より「ザ・マーク」の名称となっている。名前の由来は、ホテルを買収した会社がNYにホテルを所有した「印」という意味や、オーナーの息子の名がマークだったとの諸説がある。2000年にマンダリンオリエンタル・グループの傘下に入り、「The Mark Mandarin Oriental Hotel」としてNYで最初のマンダリン・ブランドを冠した時期もあった。2009年にはフランスの名デザイナー、ジャック・グランシェの手により全館大改修の後、再オープンを果たしている。

ザ・マークはスイートを含め全150室を擁する瀟洒(しょうしゃ)な館である。「M」と印字されたカーペットを過ぎると白と黒のストライプ模様の床が強烈なオーラを放って飛び込んでくる。筆者にアサインされた部屋は「Mark Premier One Bedroom Suite」で、約95㎡の広さを持つ落ち着いたスイートだ。メインダイニングはジャン・ジョルジュ監修の「The Mark Restaurant by Jean-Georges」があり、アッパーイーストのセレブ御用達のレストランだ。エントランス左手にはスタイリッシュな「The Mark Bar」もある。特筆すべきは、あの革靴の最高峰、ジョンロブの手による靴磨きコーナー「John Lobb Shoeshine」を用意している事だ。これは恐らく世界最高のシューシャイン・チェアであろう。また、著名なヘア・アーティストのFrédéric Fekkaiのサロン「Frédéric Fekkai's Salon Mark Hotel」があり、モデルや地元のマダムたちににぎわいを見せている。

ザ・マーク周辺には前述のメトロポリタンのほか、フリックコレクションも近く、マジソン Ave にはラルフローレン本店など高級ブティックが並ぶ。「The Mark」のロゴが入った可愛い「リキシャ」や専用リムジンでの買い物送迎サービスも嬉しい。ザ・マークはそんなホスピタリティに富んだアッパーイーストの小粋なホテルと言える。

世界のリーディングホテルから厳選
ホテルジャーナリスト
小原康裕 渾身の写真集

絶賛発売中

A4変型 フルカラー 128ページ
3,000円(本体価格)

www.ohtapub.co.jp/worldhotel/

